

平成25年11月8日
長野県警察本部
生活安全企画課

特殊詐欺の被害事例

(1) 孫を騙るオレオレ詐欺

<被害者 70歳代女性、被害額 100万円>

被害者宅に孫を装う（孫の名前を名乗る）男から電話があり、

JRから電話が来ていないか。書類や手形や携帯電話が入ったカバンを上司と出張に行く途中に落としてしまった。

等と言われました。

そして更に、JRの職員だという男からも電話があり、

お宅の荷物が岡谷駅のトイレで見つかった。落とした本人に身分証明書を持って来てもらわなければ返すことが出来ない。

等と言われました。

その後、再び、孫の名前を名乗る男から電話があったことから、被害者がJRから電話があったことを伝えると、孫の名前を名乗る男は

手形で支払いが出来ない。

等と言って困っている様子でした。

そのうちに、孫の上司を名乗る男が電話口に出て

お孫さんは今一番大事な時期だ。

こちらでも手形の弁済をするが足りないので幾らか用意できないか。

等と言ってきたことから、被害者が信用し、孫のために現金を用意する旨を伝えました。

すると上司を名乗る男から、

部下の女性が代わりに取りに行く。部下は家の場所が分からぬ。

今は〇〇医院の近くにいる。

と言われたことから、被害者は自宅近くの医院付近の路上まで行き、声をかけて来た女に現金を渡してしまいました。

(2) 警察官等をかたるオレオレ詐欺（犯人検挙）

<被害者 70歳代女性、被害額 未遂>

5月下旬、被害者宅に『長野の警察のコバヤシ』と名乗る男から電話があり

〇〇さんですか。知らないうちに口座から金が下ろされてしまっている。

〇〇さんの口座も危ない。銀行教会の人から電話が行きます。

等と言われました。

そしてその後、すぐに『銀行教会のナカムラ』と名乗る男から電話があり、

警察からも電話がいっていると思いますけど、通帳の残高を教えて下さい。

等と言ってきました。

被害者が信用し、持っている口座の金融機関名と残高を教えたところ、
金融機関の中に悪いことをしている犯人がいるようだ。
こういった事件になったことは誰にも言わないで下さい。
口座からお金を下ろして来て下さい。
金融機関でお金を下ろす際に理由を聞かれたら、家をリフォームすると言
って下さい。

と指示され、更に被害者の服装や特徴などを詳しく聞かれました。
そして被害者が、男が手配したタクシーで金融機関へ行き
リフォーム代でお金がいるから全部下ろしたい。
と申し出たところ、金融機関の職員の方から
リフォームですぐ使うんですか。家にお金を置いておくのですか。
等と細かく質問されて引き止められ、通報を受けた警察が被害者と接触し、だまされて
いたことに気付いたものです。
その後、金融機関からの通報を受けた警察官が、被害者宅付近で不審者を発見し、
取り調べを実施して逮捕しました。

(3) 有価証券購入名義貸しに関する金融商品等取引名目の詐欺

<被害者 70歳代女性、被害額 700万円>

7月中旬ころ、被害者宅に「日本〇ネルギー株式会社」のパンフレットが届き、「三井アセ〇メントのタカシマ」と名乗る男から電話があり

有価証券に興味が無ければ名義を譲ってもらいたい。
名義を譲って頂ければ謝礼として3パーセントを払います。
等と言われたことから被害者は名義を貸すことにしました。

その後、「日本〇ネルギー株式会社のムラカミ」と名乗る男から「入金の確認が出来た」との連絡があったため、タカシマが被害者から借りた名義で有価証券を購入したことが分かりました。

その後、「日本〇ネルギーのムラカミ」と名乗る男から電話があり、
あなたが名義を貸したタカシマさんが「日本〇ネルギー」の有価証券を購入
したことが金融庁にばれてしまい、インサイダー取引などと言われ、当社の
口座が凍結されました。

凍結を解除するにはあなたが普通取引しなければなりません。いくら用意で
きますか。

等と言われたことから、500万円なら用意できる旨を伝え、その後、自宅を訪問
した「日本〇ネルギーのミズサワ」と名乗る男に現金を渡してしまいました。

これで、捕まらずに済むと思っていたところ「日本〇ネルギーのマツダ」と名乗
る男から電話があり

金融庁と交渉していますが、あとどのくらいお金用意できますか。
出していただいたお金は、手続きが終了後、全額お返します。
といわれ、後で返してもらえるなら何とかしようと、更に200万円を用意して渡
してしまいました。

(4) 株取引に係わる訴訟費用名目の詐欺

<被害者 70歳代女性、被害額 1,000万円>

7月上旬ころ、被害者宅に「ミツビシ系統のA社のヤジマ」と名乗る男から電話があり、

「日本〇境」のパンフレットは届いていませんか。

と言われ、その数日後に被害者宅に「日本〇境」のパンフレットが届きました。

そしてその後、再びヤジマからパンフレットが届いているか確認の電話があり、被害者が、パンフレットが届いている旨を伝えたところ、ヤジマから

A社に電話をして株が残っていれば20口頼んで貰いたい。

お金はこちらで出しますから。

等と頼まれました。

被害者は、何度も頼まれたことから断り切れなくなり、「日本〇境」に連絡し、20口、1,000万円分の株の購入を依頼しました。

するとその後、「日本〇境のミヤモト」と名乗る男から電話があり、

株購入の代金がA社名で支払われている。A社がやっていることは違法です。

A社を訴えるため、500万円が必要だ。お金は後で返します。

等と言われたことから、被害者は、ミヤモトの言っていることが難しくてよく分かりませんでしたが、株を買った20人のうち19人は既に払っており、自分が払わないと訴訟が起こせず他の人に迷惑がかかると言われ、指定された東京都内のビル宛てに宅配便で現金を送金してしまいました。

その後も、「日本〇境のササキ」、「弁護士のイトウ」等と名乗る男らから現金を要求され、生命保険からお金を崩し、宅配便やレターパックで指定された東京都内のビル宛てに送金してしまいました。



警察アラ?!カルト No.45

~安心のメニュー~



声をかけ、水を掛けます！

特殊詐欺被害を防止するため、最後の砦となる金融機関では、警察からの要請を受けて、高額の引き落としや振り込みを行う方に声かけをしています。

でも、こんな被害が・・・

息子を名乗る男から、電話で「会社のお金を使い込んでしまった。穴埋めするためのお金を振り込んで欲しい。」と頼まれました。

私は「息子にもうすぐ子供が生まれること」が頭に浮かび、「息子が会社をクビにならぬに済むよう、何としても助けなければ」と考え、急いでお金を振り込むことにしました。

そのため、銀行の方から「振り込め詐欺ではないですか？」と、息子に確認するよう説得されても耳に入らず、ATMでお金を振り込んでしまったのです。



- 親が子を思う気持ちを利用してお金を騙し取る卑怯な詐欺、このような被害を防ぐため、警察では金融機関に“声かけをさらに強化”するよう依頼しています。皆様のご協力をお願いします。
- 騙されている方は「子を心配する親心に水を掛けるな！」と思うかもしれません。でも、本当のお子さんのためにも冷たい水で目を覚ましていただきたいのです！

会社の朝会、家族の団らん、お客さんと接する機会等に
話のネタとしてご活用下さい。

